



馬の学校

馬の学校通信 2009.12 vol.36



発行 馬の学校

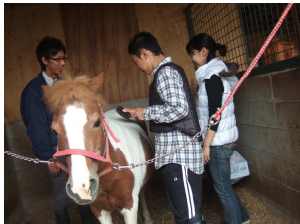
事務局 〒409-0115 山梨県上野原市松留 645 ハイム上野原 206 TEL/FAX : 0554-63-5534

E-mail : mine@dp.u-netsurf.ne.jp ホームページ : <http://www.horseschool.org>



秋のプログラム 活動報告

馬とのふれあいプログラム (服部 10/25,11/15,12/12)



「たくさん毛が抜けるね」



誘導の練習をしました



馬小屋そうじ、何だか楽しい！



「角さん、こっちだよ」



馬場まで連れて行きました



「早く食べたい・・・」

ファミリープログラム (和知 10/24)



「きれいにしてあげるね！」



楽しい乗馬の時間です



2009年 活動報告

- 3月15日 馬とのふれあいプログラム (服部)
- 4月19日 馬とのふれあいプログラム (服部)
- 4月25日 馬とのふれあいプログラム (服部)
- 4月26日 ファミリープログラム (和知)
- 6月13日 馬とのふれあいプログラム (服部)
- 7月30日 大阪 YMCA 国際専門学校
乗馬体験プログラム (和知)
- 8月 2日 タイムカプセル開封 (清里)
- 8月18~21日 ウマキャンプ (清里)
- 10月24日 ファミリープログラム (和知)
- 10月25日 馬とのふれあいプログラム (服部)
- 11月15日 馬とのふれあいプログラム (服部)
- 12月12日 馬とのふれあいプログラム (服部)

穂高北小学校での「馬の授業」

11月25日、安曇野市立穂高北小学校6年生126名を対象に「馬の授業」を行いました。総合的な学習の時間で命の大切さについて学習している授業の一環で、馬についてや馬とのコミュニケーションの取り方などを教室で学んだ後、校庭で馬との対面。校庭に馬がいるのを見て、休み時間は他の学年の子どもたちも集まってきて、興味津々！そして、ちょっぴりドキドキしながら乗馬に挑戦しましたが、1周回って来る頃には少し揺れにも慣れて笑顔がこぼれていました。にんじんをあげる時には、馬の旺盛な食欲にみんなびっくりでした。この体験が、自分を信じ、相手の気持ちを大切することにつながることを願っています。

ご協力いただいたホースランド安曇野の皆さん、お手伝いいただいたお母さん方、準備や後片づけを手伝ってくれた児童のみなさん、ありがとうございました！





「馬の授業」の様子



ドキドキわくわくの乗馬です



先生も乗馬に挑戦！

「あっ！にんじん！！」



感想文から

- ・2時間目にお話を聞きました。その時、私が一番心に残った内容は「信じれば友達になる事が出来る」と聞いて、やっぱり馬を信じる事が大事なんだと思いました。
- ・自分が乗る番がくるととてもきんちょうして少しこわかったです。でも歩いていくうちに、とても楽しくなりました。
- ・馬はとてもでっかく、特にみる君はとてもいげんがあったけど前がきしてにんじんをねだっているのを見て、やっぱり人間と変わらない所もあるんだなあと思ってびっくりしました。
- ・馬は馬なりの伝え方や動きがあって、命がある物はみんな個性があって、一人一人（一頭一頭）がちがっていておもしろいんだなと思いました。

ウエスタン競技 トレイル

今回ご紹介する「トレイル」という競技は、馬の確実で緻密で繊細な動きが追求された競技です。馬に乗って牧場の仕事をするときや外に出かけるときには、さまざまな困難が待ち受けているかもしれません。馬は臆病な動物ですから、見慣れないものに近づいたり、いつもと違う風景の中を進むのを嫌がったりします。この「トレイル」という競技では、そのようなさまざまな状況を想定して、馬場の中に用意された障害物などをできるだけスムーズに通過していきます。馬に乗ったままの状態ですべての障害物を見立てた障害物を渡ったり、「ゲート」と呼ばれる門を開け、中に入ってまた門を閉めたりします。このときにゲートから手を離してしまうと0点です。さらに「ボックス」というポイントでは馬が身体を曲げないとはみ出してしまうくらい狭い木の枠の中でクルッと回転します。例えるなら【馬の自動車教習所】のような競技ですが、もし実際に目にする機会があったら「馬ってこんなに器用なことできるのか！」と驚かれることでしょう。（幸田 郁代）



これは難易度が高い！

「ゲート」を「バック」で通過中



「ボックス」体が大きい馬なのではみだしそう



編集後記

2009年も残りわずかとなりましたが、皆様にとってはどのような1年でしたでしょうか。馬の学校も12月を最後に、全てのプログラムを無事に終えることができました。

11月には馬の学校初となる、小学校での「馬の授業」を行いました。多くの子どもたちに馬から学ぶ機会を持ってほしいと思っている馬の学校としては、念願の1つが叶うことになりました。小学6年生の甥の小学校で、総合的な学習の時間で命の学習をしていたこと、姉がPTAの役員をしていたこと、学年主任の先生が関心を持ってくださり積極的に推し進めていってくださったこと、ホースランド安曇野の方が多大な協力をしてくださったこと、…何人もの出逢いと支えの中で実現できたことに心から感謝しています。短い時間でも馬のあたたかさに触れ、乗った体験は決して消えないと思います。何十年後かの同窓会でも、「校庭で馬に乗ったこと、楽しかったね〜」と盛り上がる、そんな思い出になってくれることを願っています。（峯崎友香理）